

添付資料

- Annex 1 実施機関（CONANP）とSEMARNATの組織概要
- Annex 2 RBRC 管理事務所の概要
- Annex 3 RBRC の位置とゾーン区分
- Annex 4 RBRC の社会経済レビュー
- Annex 5 目的系図とプロジェクト選択のアプローチ
- Annex 6 プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)
- Annex 7 活動実施計画表（PO）
- Annex 8 合同調整委員会

Annex 1 実施機関(CONANP)と SEMARNAT の組織概要

1. メキシコにおける環境行政の変遷

- 過去 20 年間において、メキシコの環境行政にかかる政府組織は以下のように変化している：
- | | |
|-----------------|---|
| 1985 年から 1992 年 | ：環境問題は都市開発・環境省 (SEDUE) の生態局で管理されていた。 |
| 1992 年から 1994 年 | ：環境関連の社会的ニーズの高まりにより、上記のような機能は充実され新設された専門機関、すなわち社会開発省 (SEDESOL) が所管する環境庁 (INE)、連邦環境保全検察庁 (PROFEPA)、国家生物多様性情報活用委員会 (CONABIO) などの掌握業務となった。自然保護区の管理は INE の保護区調整部 (UCANP) が掌握することになった。 |
| 1994 年から 2000 年 | ：1994 年 12 月、環境天然資源漁業省 (SEMARNAP) が設立され上記の専門的な、そして分権化された機関はこの SEMARNAP に移管された。そして 2000 年 6 月、INE の UCANP の機能は新しく設立された国家自然保護区委員会 (CONANP) へ移管された。 |
| 2000 年 12 月から現在 | ：2000 年 12 月、SEMARNAP は水産局を農牧農村開発漁業食糧省 (SAGARPA) に移管し、現在の環境天然資源省 SEMARNAT と改名された。CONANP は SEMARNAT の下で一貫して自然保護区の管理責任機関となっている。 |

2. SEMARNAT 組織図

図 A-1-1 に示すように、SEMARNAT は INE、CONANP、CONABIO、PROFEPA、国家水委員会 (CNA)、メキシコ水工学研究所 (IMTA)、国家森林委員会 (CONAFOR) という 7 つの独立行政法人を有している。

3. CONANP の概要

3.1 任務

CONANP は RBRC を含む全 127 ヶ所の連邦政府自然保護区の管理行政および 24 ヶ所の優先サイトにおける持続的地域開発プログラム (PRODERS) の実施について責任を有する。

PRODERS とは地方部の貧困に起因する環境問題を軽減するための、財政的および技術的な支援プログラムである。このプログラムは SEMARNAT の州事務所と連携して CONANP により実施されることになっている。

3.2 組織図

CONANP の組織図を図 A-1-2 に示す。自然保護区管理事務所は委員長直属という体制である。

3.3 職員および予算の概要

2002 年 5 月における総職員数は 425 名であり、その内 260 名が 56 ヶ所の自然保護区に配属されている。年間予算は 2001 年約 1 億 8,600 万ペソであったが、2002 年には 22% 増加し 2 億 2,700 万ペソとなっている。

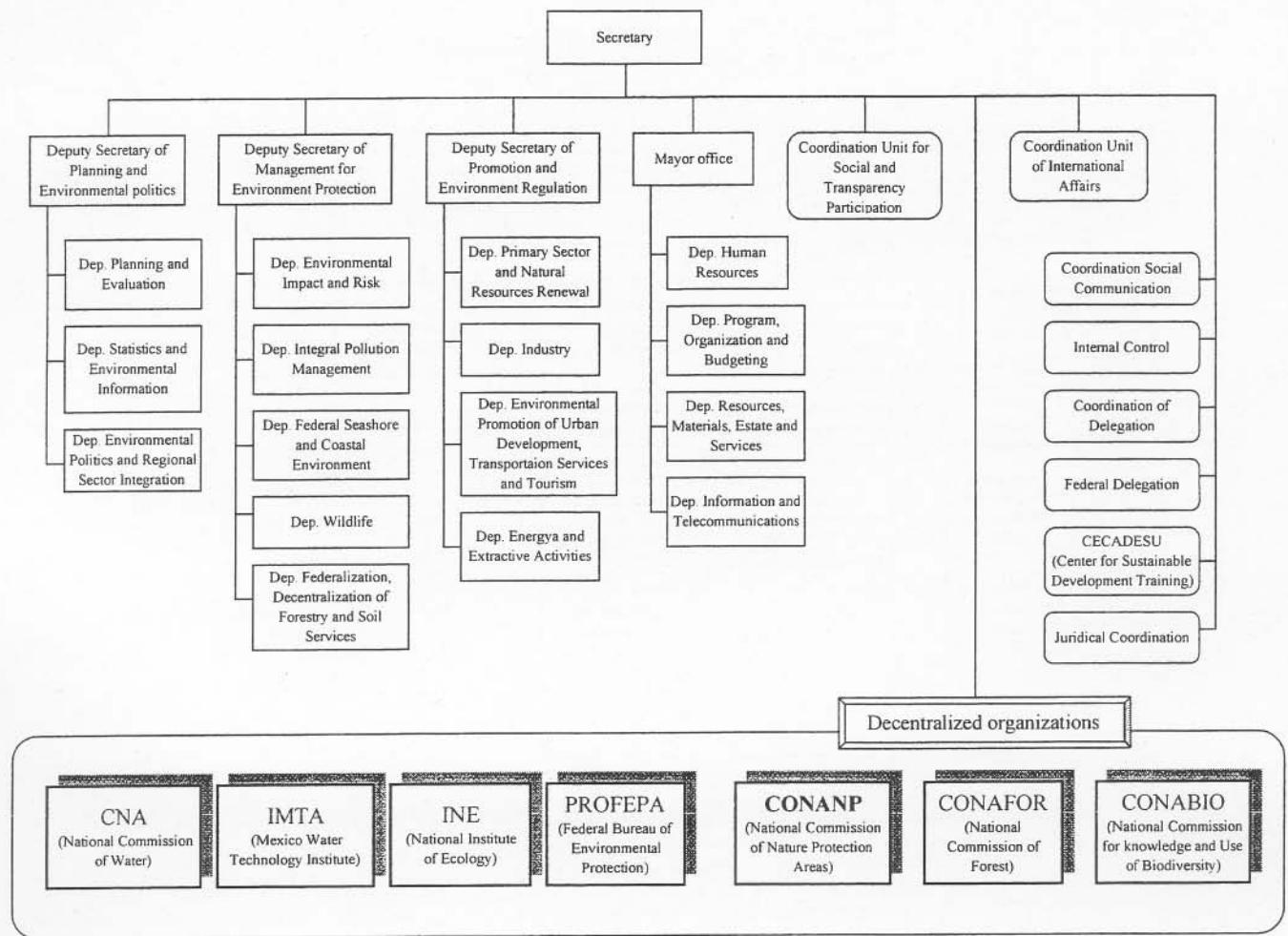


図 A-1-1 SEMARNAT 組織図

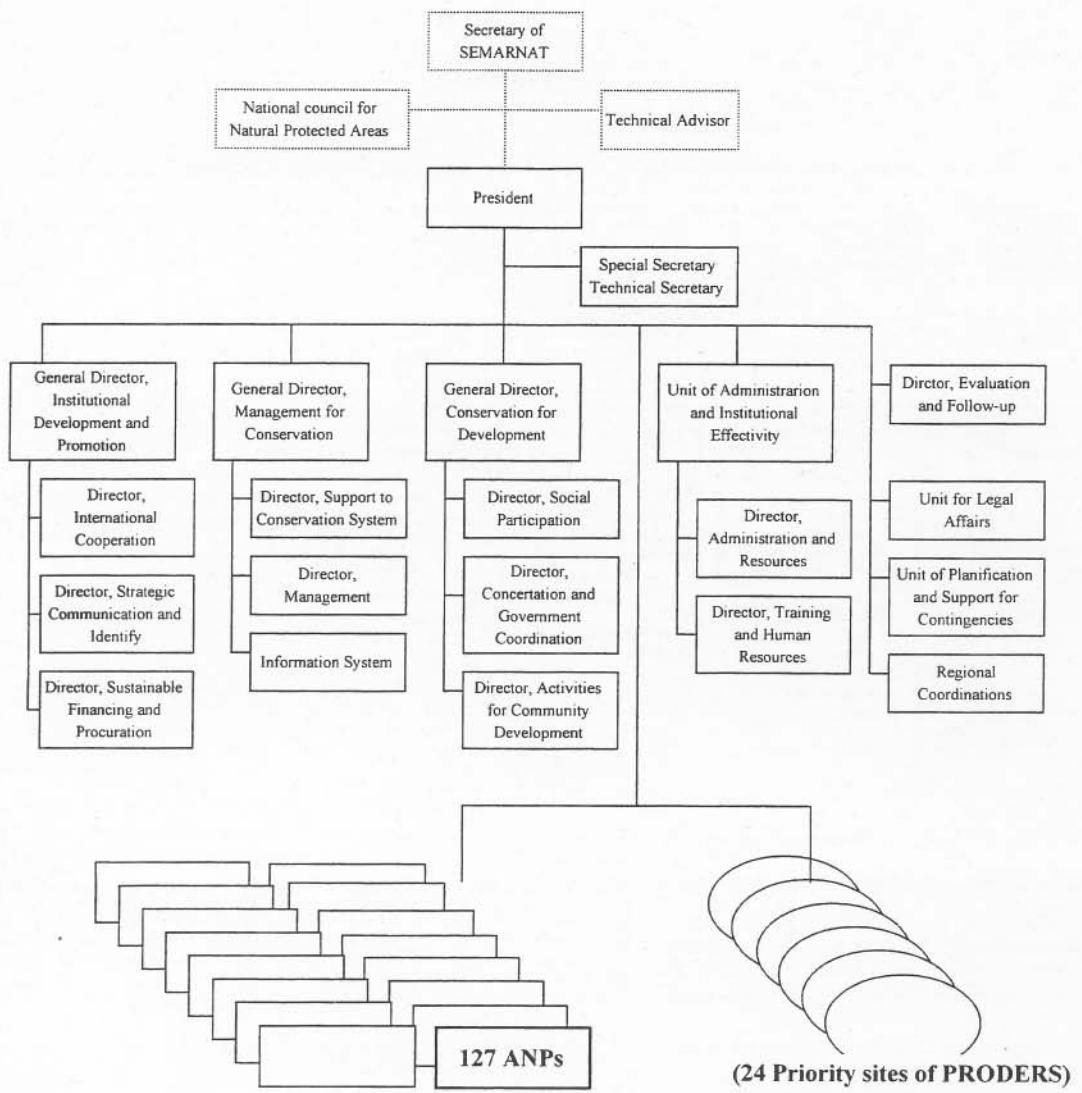


図 A-1-2 CONANP組織図

Annex 2 RBRC 管理事務所の概要

1. 任務

RBRC 管理事務所の任務は RBRC 管理プログラムに沿って一連の自然保護プログラムを実施することである。この管理プログラムは次のような項目について基本的な活動方針を示している。

項目	小項目
1. 保全	1) 検査と監視 2) 予測不可能な事故の防止と阻止 3) 生態系の回復
2. 調査とモニタリング	1) 科学的な研究調査 2) 環境モニタリング
3. 自然資源の持続可能な利用	1) 漁業 * ¹⁾ 2) 伝統的な塩生産 3) 観光 4) 代替生産活動
4. 社会開発	1) 住民参加 2) 環境教育 3) 取得された情報の普及 4) 研修
5. 管理	1) 人的資源 2) テクニカル・チームの研修と支援 3) 施設および機材の調達と維持管理 4) 組織体制 5) 実施手順と相互理解
6. 法的枠組み	1) 境界線と土地所有に関する法規 2) 管理規則
7. 実施、検査および評価	1) 準備 2) 追跡調査 3) 評価

注*¹⁾ 政府組織改革により、漁業に関する活動は SAGARPA に移管された。

これらの活動の大部分は他の連邦政府機関、地方自治体、学術機関、NGO および民間部門など多くの関連機関と共同で実施されることになっている。

2. 現在行われている活動の概要

現在の RBRC 管理事務所の主な活動は：1) 監視、モニタリングおよびデータ処理のような基本的な保護管理活動、2) 管理プログラムの統合、諮問委員会の再組織化といった政策的な基盤整備、3) 地域コミュニティー、関係機関および NGO との調整および連携した保全事業、4) マングローブ林再生などの修復事業等である。

3. 現有施設

現在の RBRC 管理事務所の本部はメリダ市の SEMARNAT - ユカタン州ビル内の約 30 m² の事務所である。セレストンでは約 200m² の平屋建てを借りて現地事務所としている。RBRC

管理事務所は出来るだけ早い時期にセレストンに自前の事務所を設立することを計画している。

4. 人的資源

局長を含む 4 名の技術スタッフおよび 1 名の事務補助員が CONANP から公式に配属されている。これらに加え、本部には RBRL やカラックムル生物圏保護区の事務所といった他の近隣の自然保護区管理事務所と兼任の秘書が 1 名勤務している。またセレストンの現地事務所には定給のないコミュニティーのボランティアと苗畑管理人がそれぞれ 1 名いる。彼らはウミガメやフラミンゴのモニタリング活動のような一時的なプロジェクトのスタッフとして PPY や NyC から若干の収入を受け取っている。

5. 予算

RBRC 管理事務所の財源は CONANP からの公式予算とフラミンゴ観察を目的とする観光ボートからの収入である。

1) CONANP からの年間予算

CONANP からの年間予算は以下の通りである。

単位：ペソ

	固定額*	資機材経費
1998	388,134	
1999	292,801	222,500
2000	533,800	271,200
2001	697,500	257,263
2002	702,000	263,000

*スタッフの給与は含まない

2) 観光ボートからの収入

観光ボート業者連合会、CULTUR および RBRC 管理事務所の間の同意により、CULTUR と RBRC 管理事務所は連合会を通してフラミンゴツアー客から一人当たり 10 ペソを受け取ることになっている。この収益は年間で 2~3 万 US ドルになる。しかしながら、この収入は運行ルートの清掃、湧水の修復など観光に関連するインフラの改良や改修のために使われており、RBRC 管理事務所は現在 CULTUR を通して現金でなく物品（消耗品や材料）を受け取るシステムとなっている。

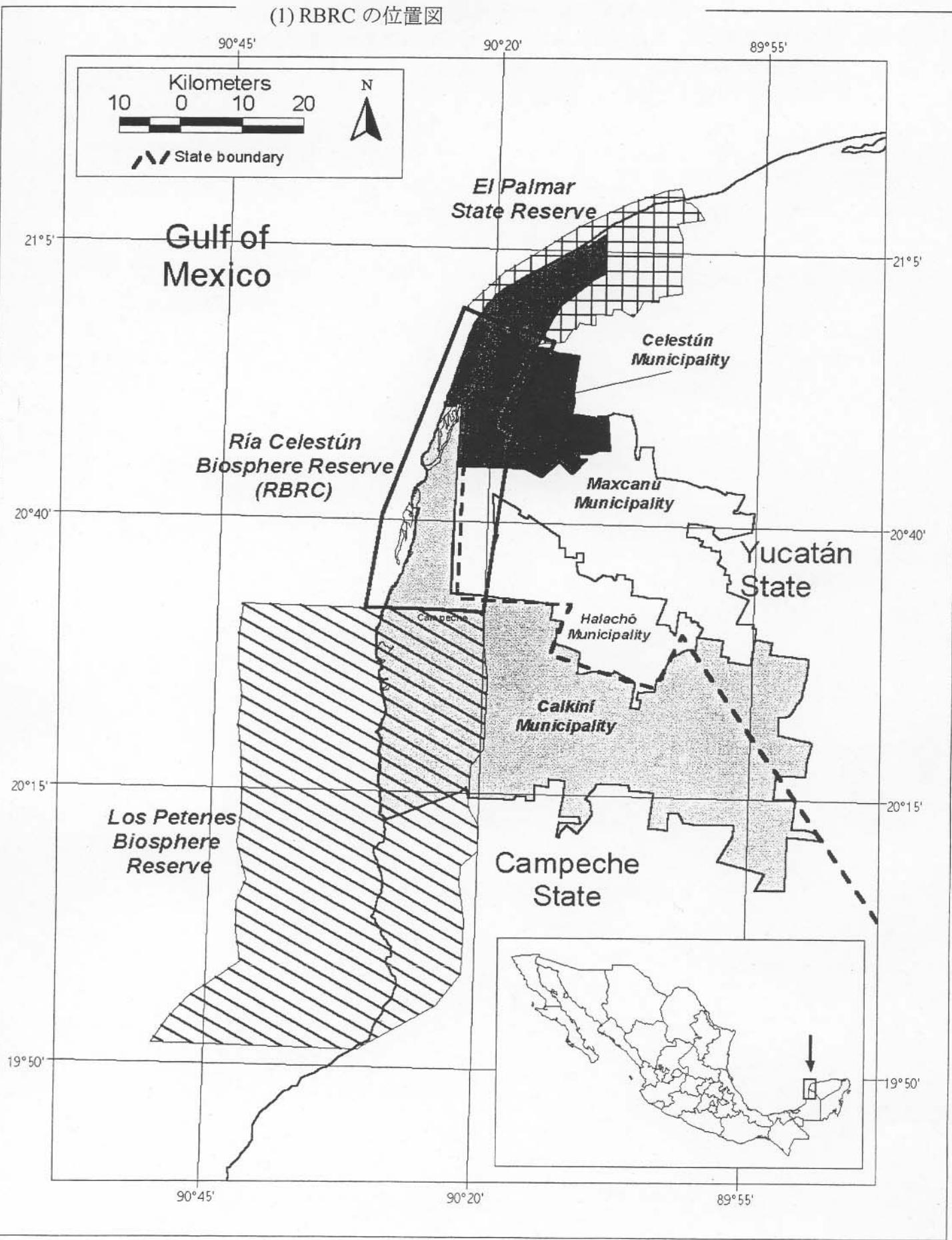
3) 利用料収入の見込み

水域での活動を有する自然保護区の利用料に関する連邦法第 198 条が履行されると、上述した観光ボートからの非公式な収入は公式な利用料、すなわち RBRC 管理事務所にとって観光客一人当たり一日 20 ペソ、に移行される。なお、CULTUR が取っている現行の料金 10 ペ

ゾ/人は継続される。この利用料はポート業者連合会によって徴収され一旦財務省（SHCP）に納められた後、RBRC 管理事務所の請求に応じて払い戻される。利用料収入は 2005 年までに約 \$ 10 万 US ドルに達すると見込まれている。

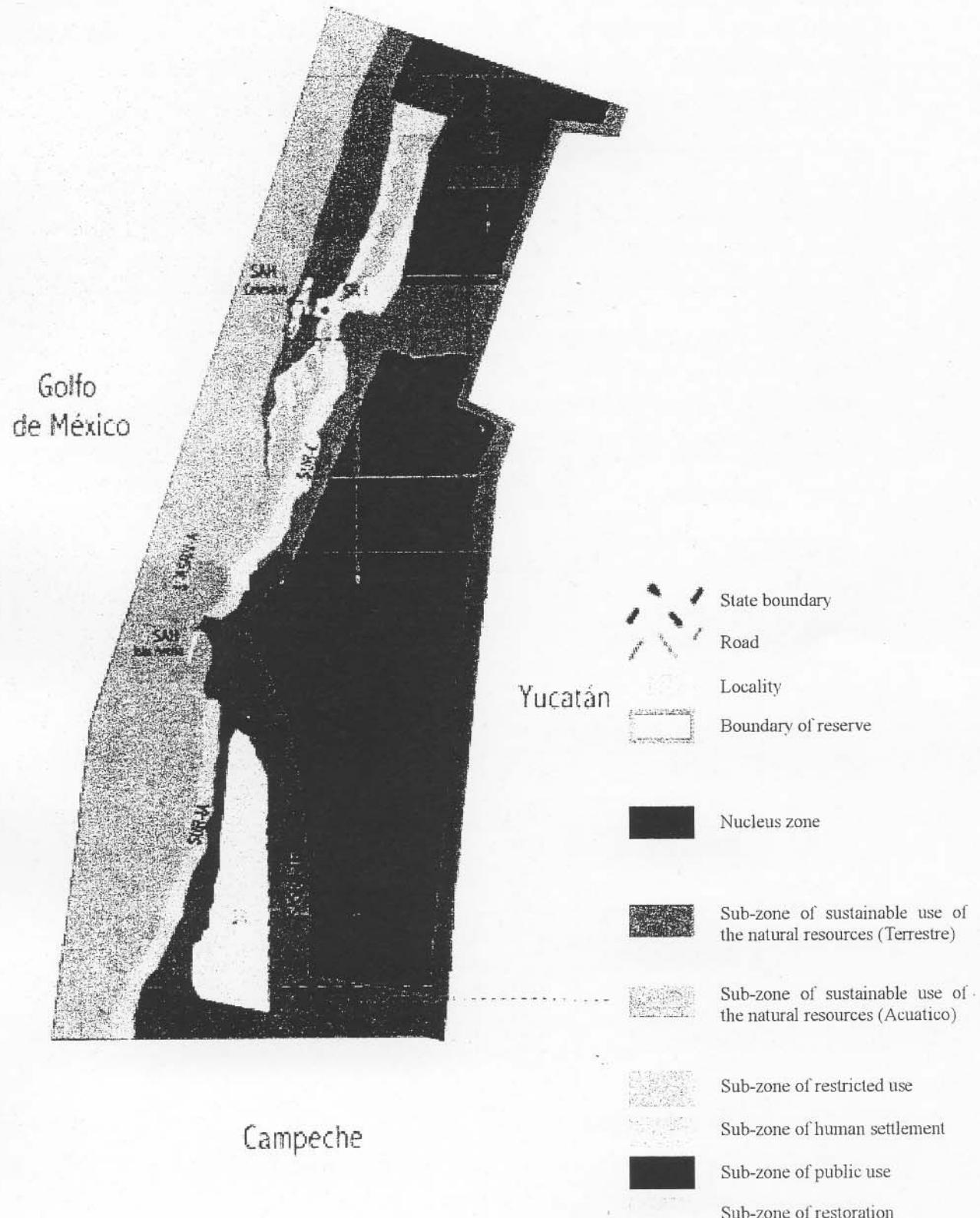
Annex 3 RBRC の位置とゾーン区分

(1) RBRC の位置図



Annex 3 RBRC の位置とゾーン区分

(2) RBRC のゾーン区分図



Annex 4 RBRC の社会経済レビュー

1. RBRC 内の郡と村落

RBRC はユカタン州のセレストン郡、マシュカヌ郡およびカンペチエ州のカルキニ郡の 3 郡にまたがって位置している。保護区内の村落はユカタン州側ではセレストン、カンペチエ州側ではイスラアレナの 2 村のみである。これらの人団と主要産業を下表に示す。

州	郡	村	人口	主要産業
ユカタン州	セレストン	セレストン	6,077 (2000 年)	漁業、製塩、観光
	マシュカヌ	-	-	-
カンペチエ州	カルキニ	イスラアレナ	646 (2000 年)	漁業

2. セレストン村の主な産業活動

1) 漁業

漁業はセレストン村の主な産業活動である。その概要と現在の問題は本文第 3 章 3.2.3 に示した通りである。補足データを以下に整理する。

漁業関係組織	漁業許可数	漁船数		従事者数	
		小	大	専業	兼業
漁業共同組合	8	100	0	200	100
民間会社	32	649	9	1343	649
合計	40	749	9	1543	749

出典: SEMARNAP (1998)

2) 製塩

製塩活動について以下に整理する。

生産グループ	設立年	生産量 (ton)	従事者	
			専業	兼業
1. Felipe Carrillo	1984	5,000-6,000	26	60
2. Chechenes	1988	2,000	23	35
3. Tabche	1988	1,000	18	30
4. Hovonche	1988	2,000	15	25
5. Polzimin	1988	300	15	15
6. Salineros Unidos	1988	1,000	15	30
7. Plaza de Armas	1988	1,000-2,000	16	15
8. Nohox Cholol	1988	500	17	10
9. Chochul	1988	200	15	-
10. Chikin Ik	1990	5,000-6,000	42	60
合計		18,000-21,000	202	280

出典: 製塩共同組合 (1999)

3) 観光業

観光業に関するデータを以下に示す。

	従事者数		合計
	専業	兼業	
観光サービス	85	1	86
レストラン	59	18	77
ホテル	35	-	35
合計	179	19	198

出典: RBRC 管理事務所 (1999)

観光ボート管理

共同組合 (SSS)	従事者数		
	登録	実際	
リア			
1. Paraiso	15	12	
2. Sta. Cruz	17	13	
3. Sta. Cruz 1	18	11	
4. Ninum	23	14	
小計	73	50	
ビーチ			
1. Chuncoco	15	10	
2. Dzidzilam	16	10	
3. Opal	24	10	
小計	55	30	
合計	128	80	

出典: RBRC 管理事務所 (1999)